

## 「こども110番」運動って？

昨今、子どもたちが登下校時を中心として、トラブルに巻き込まれる事件が多く発生し、社会問題となっています。青少年育成大阪府民会議では、地域の子どもは地域で守り、子どもたちが安心して暮らせる環境を確保するため、「こども110番」運動を推進しています。



### こども110番の家

地域の協力家庭が「こども110番」の旗などをかけ、子どもたちがトラブルにまきこまれそうになったときに、駆け込み、助けを求めることにより、子どもたちを犯罪から守り、被害を最小限にとめようとするもので、地域の皆様のご協力をお願いしています。現在約10万の家庭にご協力いただいております。

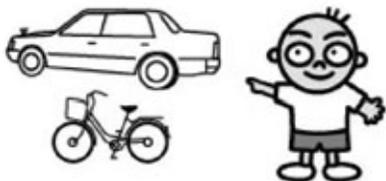
#### こども110番の家



「こども110番の家」の旗

### 動くこども110番

府内のタクシーや営業車、官公庁の公用車等に「こども110番」ステッカーを貼り、子どもたちの安全の確保に配慮します。地域でも安全パトロールなど、自主的な活動で子どもたちを守ります。



### 声かけるこども110番

地域の子どもたちを知り、コミュニケーションをしながら、子どもの安全を確保します。



### 学ぶこども110番

子どもたちに、「こども110番の家」の所在地や、犯罪から自分自身を守る方法を伝えます。



### こども110番の駅

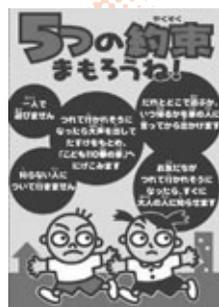
JR西日本（西日本旅客鉄道株式会社）及び近畿の私鉄各社（関西鉄道協会所属の32社）の近畿圏内485駅（うち大阪府内245駅）にて「こども110番の駅」に取り組んでいただいております。機関車トーマスのステッカーが貼ってあります。



### 2006年度の事業

2006年度は、「子どもの安全啓発看板」を作製し、大阪府内38市町村（政令市を除く）に自立型看板1,210枚、取付型看板4,750枚を配布いたしました。各地域で作成している地域安全マップでできた危険箇所を設置し、安全を啓発するためのものです。

また、「子どもの安全見まもり隊活動事例集」を作成し、大阪府内（政令市を除く）各市町村に13,000部、見まもり隊の活動がより活発になるよう配布しました。この事例集は、見まもり隊の研修や啓発のために使われるもので、子どもたちを守るため、幅広く息のながい、そして、誰でもできる活動となることを願っています。



## えせ同和行為を排除しよう！

えせ同和行為とは、同和問題を口実として、高額な図書や機関紙を売りつけたり、寄付金、賛助金・融資を強要するなど、不当に利益を得る行為を指します。えせ同和行為は、府民に同和問題に対する誤った差別意識を植えつけ、国、地方公共団体、民間運動体等が永年にわたって努力してきた同和問題の解決のための啓発活動及び教育の効果を覆すものです。

えせ同和行為に対処するためには、同和問題に関する正しい知識とそのような行為に対するき然とした態度が重要です。また、

窓口担当者に対応をまかせきりにするのではなく、組織全体の問題として対応することも大切です。具体的な要求を受けたときは、法務局、警察（暴力追放運動推進センター）、弁護士会へ相談してください。

みんなで力をあわせ、えせ同和行為を排除しましょう。

大阪府えせ同和行為対策関係機関連絡会  
(大阪法務局人権擁護部内)

TEL : 06-6942-1481